

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学 校 名	静岡県立静岡東高等学校	記 載 者	宮田 治幸
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	授業改善と確かな学力の向上	別紙（様式3 令和6年度 学校経営報告書（自己評価））参照	B	A	ICTは有用に授業内外で活用がなされているが、CHAT・GPT等の生成AIを悪用せず、更に自己の能力向上に生かしていくのが課題か。
イ	志の育成と進路目標への挑戦	同上	A	A	高大連携活動が盛んに行われており、生徒の進路選択の前に、近隣の大学教育に触れる機会を設けることで、様々な選択肢を用意している。今後更に、世界に挑戦するような高い志を養いたい。
ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	同上	B	B	名物「東陵祭」における高い満足感が示しているように、先生方の手厚いサポートの下、生徒たちは十分に自己実現を果たしている。校舎建て替えを機に、学年を超えた更なる一体感が生まれることを期待したい。 図書館利用と取組目標ア・イとの実質的連携（授業や定期試験に課題図書を扱う等）も重要である。
エ	心身の健康と命を守る教育の推進	同上	B	B	疎外感を感じてしまい易いSNSの濫用から生徒の心身を守る取り組みを考えたい。 自転車通学について、本校生徒は規律を守っているが、更に周囲に気を配る指導をしたい。交通事故の件数が多い。
オ	積極的な広報活動	同上	A	A	中学生向けの「土曜公開」は「ロコミ」の発信力を発揮しているし、校舎建て替えを機としたOB向け「旧校舎見学会」は予想外の広報効果があったと思う。
カ	業務改善と働きやすい職場づくり	同上	A	A	「百問繚乱」や「C-learning」等は先生方の時間外削減に大いに役立っていると思われるが、教員志望者が急激に減少している中であって、教員の魅力を高める独自で先進的な取り組みを期待したい。
キ	仮設校舎の運用と新校舎建築に関わる業務の遂行	同上	A	A	限られたスペースでの授業遂行等、校舎建て替えに伴う不便さの中で、安全に配慮した最大限の工夫がなされていると思う。一方、不便さを逆手にとった、生徒たちに一体感が生まれる取り組みを工夫したい。
ク	時代の要請に応える教育の推進	同上	A	A	県立大学との連携推進等、地域の上部教育機関との交流は大切で、方向性は間違っていないと思うが、地域を広く捉えた各関係機関との連携も模索したい。